平成26年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	英語2(English2)			授業コード	A027682
担当教員名	清水　孝子			科目ナンバリングコード	A10306
配当学年	1	開講期	後期		
必修・選択区分	選択	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	英語1を履修済みであることが望ましいです。ただし、後期入学の外国人留学生は除きます。1回目のクラスで習熟度チェックテストを実施し、習熟度別のクラス編成となります。				
受講心得	○必ず教科書を購入して下さい。 ○辞書(電子辞書が望ましいです)を持参して下さい。 ○遅刻・欠席はしないこと。				
教科書	*Smash Hit Listening* (Revised Edition) －English through Rock & Pop－ 熊井信弘／Stephen Timson　共著（定価2,100円 マクミラン　ランゲージハウス）				
参考文献及び指定図書	適宜、参考図書を指示します。				
関連科目	英語1、英語3、英語4、英語5、英語6				

授業の目的	「英語2」では、リスニングの力をつけることを目的とします。特に、日常会話の英語の話しことばでは、文字で書かれるように1語1語はっきりと発音されず、つながって変化したり、聞こえなくなったりすることがよくあります。方法としては、教科書で紹介されている英語の12曲の歌を使うことによって、英語に興味を持たせながら体系的な練習を通して、リスニングの力をつけていきます。そして、最終的には、英語の話しことばを聞いて、それをリアルタイムに理解できるまで到達するのが目標です。
授業の概要	聞き取りのポイントを紹介しながら、そのポイントを聞き取る練習問題をします。教科書に紹介された例文をもとに、自己表現の練習をします。そして、そのポイントを導入した歌を聞き取ってもらいます。また、それぞれの歌についてのストーリーを読みます。初級学習者を想定にした学習内容です。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 ： 授業説明	配布資料
第 2 週 ：　Unit 1 Unchained Melody　英語は強弱のリズム	配布資料 演習課題・解答例
第 3 週 ：Unit 2 Can't Take My Eyes Off of You　つながって変化する音(1)	配布資料 演習課題・解答例
第 4 週 ：　Unit 3 I Don't Want to Miss a Thing　つながって変化する音(2)	配布資料 演習課題・解答例
第 5 週 ：　Unit 4 Girls Just Want to Have Fun　つながって変化する音(3)	配布資料 演習課題・解答例
第 6 週 ：　Unit 5 I Just Called to Say I Love You　聞こえなくなる音(1)	配布資料 演習課題・解答例
第 7 週 ：Unit 6 Honesty　聞こえなくなる音(2)	配布資料 演習課題・解答例
第 8 週 ：復習テスト(小テスト)【1回目】とその解説	配布資料

	復習テスト・解答例
第 9 週 :　Unit 7 Yesterday Once More　つながる音（1）	**配布資料** 演習課題・解答例
第10週 :　Unit 8 To Love You More　つながる音（2）	**配布資料** 演習課題・解答例
第11週 :　Unit 9 Your Song　短縮形の音（1）	**配布資料** 演習課題・解答例
第12週 :　Unit 10 You've Got a Friend 短縮形の音（2）	**配布資料** 演習課題・解答例
第13週 :　Unit 11 When a Man Loves a Woman 弱くなる音	**配布資料** 演習課題・解答例
第14週 :　Unit 12　I Want to Know What Love Is　やわらかくなる音	**配布資料** 演習課題・解答例
第15週 : 復習テスト（小テスト）【2回目】とその解説	**配布資料** 復習テスト・解答例

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	「複数クラス方式」
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
備考		

〇単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	口語英語の音声のシステムについて関心を持つ。
【知識・理解】	口語英語の音声のシステムについて理解ができる。
【技能・表現・コミュニケーション】	リアルな口語英語の聞き取りができる。
【思考・判断・創造】	何気なく聞いている英語の歌が持っている深い意味やそこに込められたメッセージを理解する。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	**期末試験・中間確認等（テスト）**	**レポート・作品等（提出物）**	**発表・その他（無形成果）**	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。	**10点**	**10点**	**10点**	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	**30点**	**10点**		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。	**10点**	**10点**		
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	**10点**			

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	**評価の実施方法と達成水準の目安**
レポート・作品等（提出物）	
発表・その他（無形成果）	